

平成18年7月13日

茨城県教育委員会教育長 稲葉 節生 殿

茨城県立高等学校等入学者選抜方法協議会

委員長 谷島 英一

平成18年度茨城県立高等学校等入学者選抜方法協議会における協議結果
について

標記のことについては、下記のとおり報告します。

記

1 平成19年度茨城県立高等学校入学者選抜事務日程について

平成19年度茨城県立高等学校入学者選抜事務日程については、昨年度の茨城県立高等学校入学者選抜方法協議会（以下、「協議会」という。）で報告された日程案が基本的に変更を必要としないことを確認した。したがって、平成19年度については、別添1「平成19年度茨城県立高等学校（全日制・定時制）入学者選抜事務日程表」のとおり設定することが望ましい。

2 平成20年度茨城県立高等学校入学者選抜事務日程について

茨城県立高等学校入学者選抜事務日程については、従来から、選抜事務処理を円滑に進めるため、中学校及び高等学校の学校行事等を考慮するとともに、私立高等学校の事情にも配慮しながら、定められているところである。

また、学校の年間計画の作成に配慮し入学者選抜事務日程を早めに発表するという観点に立って、次年度の日程について協議を行った結果、平成20年度茨城県立高等学校入学者選抜事務日程については、別添2「平成20年度茨城県立高等学校

(全日制・定時制)入学者選抜事務日程表」のとおり設定することが望ましいと考える。

3 県立中等教育学校及び県立中学校の入学者の決定方法について

本県では、「県立高等学校再編整備の後期実施計画」において、平成20年度に並木高等学校を改編して中等教育学校を設置するとともに、平成22年度には緑岡高等学校に県立中学校を設置して併設型中高一貫教育校とすることとしている。

中等教育学校及び併設型中学校の入学については、設置者の定めるところにより、校長がこれを許可することと定められている。本協議会で協議した結果、県立中等教育学校及び県立中学校の入学者の決定方法については、以下のとおりとすることが望ましいと考える。

(1) 入学者決定の基本方針について

ア 入学者の決定の基本的な在り方について

学力検査によらず、6年間の学習活動への適応能力、学ぶ意欲その他の適性を判定できる方法によって、入学者を選抜する。

イ 入学者の決定方法に係る学校裁量について

中高一貫教育校においても特色ある学校づくりを進める観点から、それぞれの学校の教育理念や育てたい生徒像に照らして入学者を選抜できるよう、学校の裁量をある程度認める。

(2) 入学者決定の具体的な在り方について

ア 2段階選抜について

志願者が募集定員を大きく上回った場合においても、原則として抽選や書類選考による受験者の決定は行わず、志願者が全員受験できるようにすることが望ましい。ただし、志願者が非常に多く、全員受験することが難しい場合の対応については、別途考えておく必要がある。

また、調査書及び適性検査等により募集定員を上回る数の入学候補者を選抜した後に、抽選を実施して最終的な入学者を決定することは、行わないものとする。

イ 選抜資料について

提出書類、面接の結果、適性検査の結果、作文及びその他の検査の結果など、選抜に必要とする資料を総合して、入学者の選抜を行う。

(ア) 提出書類

志願者は、小学校長が作成する調査書及び本人が書く志願理由書を提出するものとする。志願理由書は面接を補完する資料として用いる。

(イ) 面接

面接を実施するものとする。個人面接とするか、集団面接とするかについては、学校が定める。

(ウ) 適性検査

各中高一貫教育校の設置の趣旨及び教育目標に照らして、学習活動への適応力、同一校での6年間の学校生活に対する適性などを見るために、適性検査を実施するものとする。

(エ) 作文及びその他の検査

作文及びその他の検査（実技検査、口頭試問など）の実施の有無は、学校が定める。

ウ 入学者の男女の構成比について

義務教育段階の中学校及び中等教育学校の前期課程においては、男女が互いに尊重し協力し合うことを学んでいく上からも生徒の構成は男女のバランスがとれたものであることが望ましいこと、中高一貫教育校においては、学年の男女の構成比は6年間継続されるものであること、などの理由から、入学者における男女は同数であることが望ましい。

(3) 入学者決定方法について配慮すべき事柄

ア 検査内容

適性検査及びその他の検査の内容については、特別の準備を必要としたり、小学校の学習内容に影響を与えたりすることのないように配慮する。

イ 実施時期

志願者の検査及び入学者の決定については、小学校の学習活動や市町村立中学校の学級編制及び人事配置に影響を与えない時期に実施することが望ましい。

別添 1

平成19年度茨城県立高等学校（全日制・定時制）入学者選抜事務日程表

2月		3月	
1	木	1	木
2	金	2	金
3	土	3	土
4	日	4	日
5	月	5	月
6	火	6	火
7	水	7	水
8	木	8	木
9	金	9	金
10	土	10	土
11	日	11	日
12	月	12	月
13	火	13	火
14	水	14	水
15	木	15	木
16	金	16	金
17	土	17	土
18	日	18	日
19	月	19	月
20	火	20	火
21	水	21	水
22	木	22	木
23	金	23	金
24	土	24	土
25	日	25	日
26	月	26	月
27	火	27	火
28	水	28	水
<p>←-----→ 印は，郵送消印有効日</p>		29	木
		30	金
		31	土

入学願書提出
推薦調査書等提出
推薦入学願書・
願書等提出
連携型入学

推薦入学・連携型入学者選抜の面接等

建国記念の日

振替休日

学力検査

合格者の発表（午前9時）

推薦第2等次
願書提出

推薦・連携型合格内定通知（午前9時）

第2次学力検査

勤の日

第2次合格者の発表（午前9時）

変志願先

提出調査書
実技検査
例子転受女勤付特者

別添 2

平成 20 年度茨城県立高等学校（全日制・定時制）入学者選抜事務日程表

2 月		3 月	
1	金	1	土
2	土	2	日
3	日	3	月
4	月	4	火
5	火	5	水
6	水	6	木
7	木	7	金
8	金	8	土
9	土	9	日
10	日	10	月
11	月	11	火
12	火	12	水
13	水	13	木
14	木	14	金
15	金	15	土
16	土	16	日
17	日	17	月
18	月	18	火
19	火	19	水
20	水	20	木
21	木	21	金
22	金	22	土
23	土	23	日
24	日	24	月
25	月	25	火
26	火	26	水
27	水	27	木
28	木	28	金
29	金	29	土
◆-----▶ 印は，郵送消印有効日		30	日
		31	月

入学願書提出
推薦入学調
査書・推薦
書提出
連携型入学
願書等提出

変志
更願
先

提出調
査書
実技検査
例子転
受女勤
付特者

学力検査

提願第
出書2
等次

合格者の発表（午前9時）

第2次学力検査

第2次合格者の発表（午前9時）

勤の日

平成18年度茨城県立高等学校等入学者選抜方法協議会委員名簿

氏名	役職等
青柳正美	県立下妻第一高等学校長
赤荻利夫	筑西市立下館南中学校長
石井澄子	潮来市立牛堀中学校教頭
市毛正明	笠間市立笠間小学校教諭
大川慶一	茨城県教育弘済会常任顧問
大川英世	県立麻生高等学校長
大山清	県立並木高等学校長
柿沼宣夫	つくば市教育委員会教育長
梶清史	県立太田第一高等学校教諭
鯨岡武	水戸市教育委員会教育長
佐藤哲夫	日立市立大久保中学校長
柴崎規美子	県立土浦湖北高等学校教諭
柴田千賀子	高萩市立松岡中学校教諭
高野雅美	稲敷市立東中学校教頭
土門能夫	水戸市立第二中学校長
中庭陽子	県立那珂湊第二高等学校教頭
野村啓二	県高等学校PTA連合会副会長
橋本重信	土浦市立土浦小学校長
秦雅博	県立緑岡高等学校長
平澤憲次	県立水戸桜ノ牧高等学校長
平山寛児	県PTA連絡協議会副会長
廣瀬和喜	茨城県私学協会会長
松崎茂樹	県教育庁教育次長
三浦忠雄	茨城大学教授
宮本弘	龍ヶ崎市立愛宕中学校長
村松輝美	県立土浦第一高等学校長
諸澤英道	常磐学園理事長
谷島英一	県立下館第一高等学校長
山根爽一	茨城大学教育学部附属中学校長
和田肩羊	水戸市立見川中学校長

委員長 副委員長

(五十音順)